

■日本市場史(～江戸時代鎖国)

	主な出来事 (青字は中国・朝鮮等)	国家		市場		
		外交・防衛	国内政策 (赤字:貨幣, 青字:徴税)	民間貿易	市場	
縄文・弥生	-3500 三内丸山 ～2000 -1000頃 稲作伝播 0年頃 鉄の伝播	稲作技術伝播 鉄加工技術伝播		徐福伝説 贈与経済 黒曜石・ヒスイ他など国内、大陸と日本の間での交易が確認 稲作伝播は200年で東日本まで拡大 (0年頃の青森での水田稲作跡が確認) 鉄の交易 (半島(任那)から北九州に流通)	祭祀ネットワーク 贈与ネットワーク	渡来豪族による多元外交 ↓ 稲作・神社のNW ↓ 大王家による外交の一元化 ↓ 仏教教団による経済活動 ↓ 大陸文化の選択的受容 ↓ 主体的に自閉→貴族化 ↓ 平安京の都に富が集積 ↓ 国家による市場拡大 ↓ 武士階級による国家統一 ↓ 幕藩体制の確立
古墳	240年 箸墓古墳 5世紀 巨大古墳乱立 6世紀 古墳の縮小	馬の伝播	豪族が連合を形成	大量の渡来民 ↓ 大陸技術の流入	古墳ネットワーク 製鉄の開始 神社の登場(伊勢神宮)	
飛鳥	589 隋(中国統一) 607 法隆寺創建 618 唐(中国統一) 698 渤海建国	538 仏教伝来 607 遣隋使派遣 630 遣唐使派遣 663 白村江の戦い→防人の配置	603 冠位十二階 604 憲法17条の制定 645 大化の改新 出挙の制度 (徴税システムの定着) 652 班田収授法 672 壬申の乱 683 富本銭(天武天皇) 701 大宝律令(租庸調の徴税)	遣隋、遣唐使制度に伴い大陸文化が民間レベルでも流入	神社ネットワーク	
奈良	710 平城京 752 東大寺大仏開眼 756 正倉院 788 延暦寺創建(最澄)	758 大宰府	723 三世一身法 743 墾田永年私財法(律令制の崩壊) 749 私稲の出挙を禁ず	渤海交易	東市・西市の発生(市場誕生) 荘園の発生 陸の道の建設 密教・修験道ネットワーク →延暦寺がその後の市場の元締め	
平安	794 平安京 805 最澄(天台宗) 806 空海(真言宗) 932 高麗 967 宋中国統一	894 遣唐使廃止	799 私稲の出挙を許す 897 受領の誕生 902 荘園整理令	980 日宋貿易開始	796 東海道 1008 源氏物語 海賊の台頭	
鎌倉	1192 鎌倉幕府 1260 元	1274 元寇(文永の役) 1281 元寇(弘安の役)	1232 御成敗式目 1297 永仁の徳政令 北条氏による内政 1334 建武の新政	倭寇貿易 1306 元との私貿易の活発化	土倉・酒屋が台頭 頼母子講(相互扶助金融)が登場	
室町	1338 室町幕府 1368 明 1392 李氏朝鮮 1429 琉球王国	1401 倭寇の取締 1404 日明貿易(勘合貿易) 1543 鉄砲伝来 1549 キリスト教伝来	銅銭の輸入	琉球貿易 貿易都市「堺」の発生 堺→琉球→中国	土倉が合銭(出資金)を集めて貸付(日本の銀行業務の始まり) 金貸しの暴走に対して徳政を求め一揆が多発 (1485:山城の国一揆 1488:加賀の一向一揆)	
安土桃山	1575 信長統一 1585 秀吉関白	1587 キリスト教禁止 1587 バテレン追放令 1591 朝鮮出兵 1592 朱印船貿易	1577 楽市楽座(安土) 1588 海賊取締令・刀狩令 1588 刀狩 1594 太閤検地 1601 佐渡金山発見(家康が開発に着手)		寺社から商業権益の剥奪 海運創業発達 秀吉の城下町として大阪が都に	
江戸	1603 江戸幕府開設	1612 キリスト教禁止 1641 オランダ商館を出島に移転→鎖国の成立	1635 参勤交代開始 1636 寛永通宝の鑄造開始 徳川の三貨制度	島津:琉球支配 松前藩:アイヌ支配	17C 江戸～大阪を結ぶ菱垣廻船、江戸と東北を結ぶ東廻り船が発達 参勤交代により宿場町が発達 三貨交換のため両替屋が発達 18C 江戸人口100万人(世界最大) 地域ごとの名産品が登場	幕藩体制の確立 貨幣統合(管理市場)